

第二の人生は 好きなものに囲まれて



「名古屋には喫茶店文化があり、お客様が長く落ち着いて滞在できる店が多くある。熊屋もそのようなお店になっていければ嬉しい」と話す深川さん。紅茶とお店の雰囲気はもちろんですが、深川さんとの楽しいおしゃべりもお店の魅力の一つかもしれません。

去年の7月にオープンした紅茶専門喫茶古民家熊屋を営んでいる深川みどりさん（下野）は、愛知県名古屋市の出身で村に移住してきて4年目。村へ移住した理由はテレビで見た白川水源の美しさと湧水量に衝撃を受けた記憶からで、熊本地震の被害にあった地域でもあったことから、住むだけでも何か力になれことがあるのではないかと思い、移住を決心したこと。

紅茶専門喫茶を開いたきっかけは、深川さん自身が紅茶が好きでよく飲んでいたことから。店を開くにあたっては、改めて紅茶の勉強をして専門の資格も取得されました。店で提供しているのは紅茶と子ども向けのデコポンジュースと手作りのマーラーカオだけ。お客様からは「なぜコーヒーが無いの？」と尋ねられることもあるが、コーヒーは香りが強く、紅茶の大きな魅力の一つである香りが感じられなくなるため、こだわってコーヒーは提供しておらず、紅茶の専門店とされています。

今回は、ご応募がありませんでした。
3歳の誕生日を迎えるお子さまが
いらっしゃいましたら
ぜひご応募ください。
※メールでのご応募もできます。
skikaku@vill.minamiaso.lg.jp

「村と人」を 募集しています

南阿蘇村（出身でも可）で、何かに挑戦している人や頑張っている人（団体）、活躍している人を紹介します。年齢、自薦・他薦は問いません。
たくさんの応募をお待ちしています！

【申し込み・お問い合わせ】

政策企画課企画係
TEL(67) 2230

南阿蘇村
公式SNS運用中!!



◀LINE
LINEメニューでの受信設定を必ずお願いします



◀ツイッター



◀フェイスブック

3歳の誕生日を迎えるお子さんを募集します

■応募方法 誕生月の前月5日（5日が休日の場合は5日以降直近の平日）までに、写真・一言コメント・お子さんの氏名と生年月日・保護者の氏名・連絡先を添えて役場政策企画課企画係までお申し込みください。

【お問い合わせ】 政策企画課企画係 TEL0967(67) 2230

編集後記

▶本号の特集記事「今、熊本のサッカーが熱い」。サッカー好きな私の趣味で作成（公私混同）したと思われるかもしれませんのが、熊本県下の各市町村の広報担当者で協力して作成した、工夫と努力が詰まった記事となっています。ぜひお読みください。
▶広報コンクールで優秀な成績を修めている広報紙を見ると写真やイラストが7割、文字が3割という恐ろしいバランスで構成されています。多くの人に見てもらえる広報紙と行政からの情報を見くわせる広報紙の両立というのは不可能な課題かもしれませんが、正解のない努力は続きます。◎

人口

男	4,953 (-3)
女	5,192 (-7)
計	10,145 (-10)
世帯数	4,692 (-11)

令和5年1月31日現在
(前月比)

